※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １２０５ |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「美術Ⅰ」　（光村図書） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・立体」、目的や機能から考える「デザイン」、基礎について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有することによって、更に広がったり深まったりします。

## ２　学習の到達目標

| 観点 | 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|---|---|---|---|
| 到達目標 | 創造的な美術の表現をする力を身に付け、自分なりの表現方法を工夫できるようになる。 | 感性や想像力を働かせて、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができるようになる。 | 多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができるようになる。 |

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 創造的な美術の表現をするために必要な基礎的な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 | 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 美術とは？ | 【描写】<br>・オリエンテーション<br>教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。<br>・描写の基礎を身につける。 | a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。線画と描写の違いの理解。<br>b:普段から、どのようなものに興味を抱いているのかを発見し、美術がどのような形で生活に結びついているのかを見つけようとしている。<br>c:作品のよさや美しさを探求していき、その理解を深めている。 | ワークシートの内容 | 構図、描きこみの理解 | 学習活動の様子、理解具合<br><br>完成作品 |
| | 色彩構成＆プレゼンテーション | 【色彩】<br>・色彩基礎<br>・色彩構成<br>混色の方法や色彩の基礎を身に着け、線や色から受けるイメージを表現する。<br>・プレゼンテーション<br>自分の制作意図を人に伝える。 | a:色彩の基礎を学び、美しい色の作り方及び美しい塗り方をマスターするための水加減を学ぶ。<br>b:線や色から受けるイメージの構想をしっかりと練っている。<br>c:自分のイメージ通りに表現できたか、また、それを人にきちんと説明し、理解してもらえるか。 | 原稿用紙の内容 | 計画通りに実践されたか。プレゼンの内容、人のプレゼンの理解 | 学習活動の様子、理解具合<br><br>完成作品<br>プレゼン内容 |
| | 紙による立体制作 | 【基礎立体】<br>・プリントによる立体の説明。<br>・展開図、紙の取り方の説明。<br>・立方体を正確に美しく制作。 | a:のりしろを含めた展開図の取りのよい展開図を理解する。デッドスペースについて考察しようしている。<br>b:立方体の展開図を思いつくまま書いてみて、その中でデッドスペースが少ない展開図を紙の取りよくきちんと作図する。<br>c:墨と和紙の特性を活かし、資料や原画から表現方法の特徴を見つけ、創意工夫を重ねながら制作に取り組めている。 | 展開図の内容<br><br>ワークシートの内容 | 計画通りに実践されたか | 学習活動の様子、理解具合<br><br>完成作品 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 複合体制作 | 【立体】<br>・様々な幾何形体の展開図をプリントで説明し、オリジナルの美しい立体を考える。<br>・制作する立体物のミニチュアを作ってみて、展開図を考える。<br>・下書きを済ませてから、 着色をしたり、折れ筋を入れる。<br>・接着剤の特性を考えて。<br>正しく使用して美しい立体物を完成させる。<br>・相互鑑賞 | a:のりしろを正しく効果的に使用することができる。<br>b:立体切断面の展開図を理解し、制作の手順を考える。<br>c:立体の定義を理解し、表現方法を工夫してどこから見ても美しい立体物を表現している。 | ワークシートの内容 | アイディアスケッチ<br>ミニチュア作品 | 学習活動の様子、理解具合<br><br>完成作品 |
| | 溝引きデザイン | 【デザイン】<br>・ガラス棒の使い方<br>・アクリル定規の溝とガラス棒を使いこなして、筆で様々な種類の直線を引く。<br>・使いこなせるようになったら、イラストボードにデザインする<br>・相互鑑賞 | a:用具の性質について考え、正確に使用できるように取り組んでいる。<br>b:面相筆の特徴をつかみ、表現などを工夫している。<br>c:手作業ならではの細かさを理生かして表現している。また、カラー展開の表現方法について理解を深めている。 | 練習 | 練習の成果を実践されたか | 学習活動の様子、<br><br>課題練習<br><br>完成作品 |
| | 半立体ポスター | 【デザイン】<br>・アイデアを考える<br>・下描き～レタリング<br>資料を参考に下書き<br>商品名をレタリングする<br>・配色計画<br>色鉛筆で配色計画をたてる<br>・制作<br>アクリル絵の具で着彩する。 | a:ポスターのセオリーを学び、訴求に応じたデザインを考える。<br>b:ポイントである半立体物の特徴をいかにとりいれるかを考えている。<br>C:レタリングをきちんと理解し、美しく着彩している。<br>半立体物の取り付け方を工夫している。 | 前課題を生かしているか<br><br>ワークシートの内容 | ポスターの趣旨やセオリーの理解<br><br>レタリング | 学習活動の様子、工夫具合<br><br>完成作品 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度